

第4回 在宅医療・介護連携のための多職種連携研修会

- 1 開催日時：令和元年7月18日（木）午後2時～4時
- 2 開催場所：淀川区在宅サービスセンター やすらぎ
（大阪市淀川区社会福祉協議会 3階会議室）
- 3 講師：公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 常務理事 米田 裕香 先生
- 4 演 題：口腔ケアについて
- 5 出席者数：40名
- 6 内 容：

口腔機能やオーラルフレイルについて、ご説明いただいた後、クラッカーと水を使って実際に介護が必要な方の状態を体験し、片麻痺がある方などへの適切な介助の仕方、うがいの大切さ、歯みがきの習慣づけ、特に歯みがきの拒否が強い認知症の方への病態別の働きかけ方、唾液の分泌を促す唾液腺のマッサージや「パタカラ」体操など、とてもわかりやすく教えていただきました。

また、舌の筋肉の衰えなど口腔機能の衰えは気づきにくいので、活舌が悪くなったり、食事を残すことが多くなったり、時間がかかるようになり、食事中的水分量が増えたり、食べこぼしが多くなってきたらケアマネジャーさんに報告して、「このままで大丈夫ですか？」とお伝えくださいとのことでした。そして、専門的にみがく必要があれば、歯科と連携し、ぜひ歯科衛生士を呼んでいただきたいとのことでした。

最後に、食べることは生きることであり、身近な方の観察、評価が非常に大切で、介護職の方が日々の暮らしを支えていただいているので、気になる方がいれば、ケアマネジャーさんと連携していくことが必要とお話いただきました。



7 参加された方のご意見等

- ・ 口腔ケアの大切さを学びました。
- ・ 利用者さんや家族（認知症の母）に役に立ってます。
- ・ 認知症の原因ごとに対応を変えることが大切であることが興味深かったです。
- ・ 再確認できたこと、参考になったこと、多々ありました。ありがとうございます。
- ・ わかりやすい研修会で、実践に役立つものでした。ありがとうございました。
- ・ 口腔ケアの重要性、大きいです。
- ・ 歯磨きの不安を取り除く介護がわかった。
- ・ 専門的な内容のお話が聞けて、大変勉強になりました。
- ・ 口腔ケアの大切さ、介護するときの注意、認知症の病名による対応のポイントなど、具体的にわかりやすく説明していただき、有難うございました。